

令和2年度 日南市立鶯戸小中学校 自己評価及び学校関係者評価の報告

4段階評価： 4達成した 3ほぼ達成した 2やや改善を要する 1改善を要する

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己 評定	外部 評定	外部評価コメント
【知】 確かな学力を身に付けさせます。	1 ◎基礎・基本を確実に習得させます。	○ 職員研修で年2回の研究授業を実施し、授業改善に努めることができた。 ○ デジタル教科書やワークシートなどを活用して児童生徒がわかりやすい授業を心がけることができた。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による臨時休業や授業での制限などがあり、大変な1年だったと思うが、学校がわかりやすい授業を心がけ、しっかりと基礎から教えられていてスムーズに課題に取り組んでいる姿が見られます。児童生徒の学力もしっかり上がっていると思う。 学校、児童生徒、保護者の自己評価が低いのが気になるが、個別に指導するなど少人数ならではの行き届いた指導で、児童生徒が理解できるように取り組み、成果が上がっていると思う。 宮日新聞に児童生徒の作品が多く掲載されている。鶯戸の子どもたちの作品が載るとうれしく思う。地域の方もとても喜んでいるので、これからも取り組んでほしい。 読書の自己評価が低くなっているが、100冊以上借りて読んでいる児童が数人いるのはすごいと思う。中学生は時間も少ないと思うが、これからもどんどん本を読んでほしい。
	2 ◎家庭学習の習慣化を図ります。	○ 家庭学習の室に課題はあるが、宅習や自主学习の内容を確認し、個別に指導することができた。 ○ 感染症拡大防止のための臨時休業中にも、計画的に家庭学習のための課題を出すことができた。			
	3 ◎特別支援教育の充実を図ります。	○ 特別支援コーディネーターを中心に、全体理解を図り、個に応じた指導を心がけた。 ○ 校内教育支援委員会を計画的に実施し、通級指導や個別指導を計画することができた。			
	4 ◎読書活動を積極的に推進します。	○ 朝の読書の時間やたいよう号の活用など読書推進のための呼びかけをすることができた。 ○ 委員会活動による読書推進の活動を進める必要がある。			
【徳】 豊かな人間性を育てます。	1 ◎道徳教育を充実させます。	○ 人権集会や命の大切さを考える集会を通して小中合同で心の教育が充実していた。 ○ 読み物資料を配付したり、週案に道徳の計画を記載したり道徳の授業へ意識付けができた。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 命の大切さを考える集会や人権集会など、児童生徒の意識を高める取組が素晴らしい。地域でも児童生徒が明るくあいさつをし、お年寄りにも優しく接してくれるので元気をもらっています。また、児童生徒が育てた花が地域をかざり安らぎをもらっています。 1年生から9年生まで年の差があっても、小規模校ならではの距離感があって互いに思いやる、支え合う関係ができてよい効果が現れている。 小学部の宿泊体験学習や9年生の修学旅行などしっかりと対策を取って実施できてよかった。 中学部を中心にキャリア教育を意識した行事等を実施しており、生徒の進路に対する意識は高いと思う。 教育相談を定期的に行い、児童生徒の心のケアに努めることができていると思う。また、巡回相談員と連携し、保護者からの相談にも対応できている。
	2 ◎体験的活動を推進します。	○ 新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事等が中止となったが、花いっぱい運動など感染対策を取り、実施できた。児童生徒の生き生きとした姿を見ることができた。			
	3 ◎進路指導の充実を図ります。	○ 高校説明会など規模を縮小したが、進路に対する意識を高める手立てをとることができた。 ○ 小中連携を生かして、9年間を見通したキャリア教育の充実を図る必要がある。			
	4 ◎教育相談体制の充実に努めます。	○ 巡回相談員や関係機関と連携し、児童生徒や保護者の相談に丁寧に対応し、早期解決を図った。 ○ 年3回の教育相談週間を計画し、教育相談体制の充実を図り、個別に対応することができた。			
【体】 実践します。自主的な健康づくりを	1 ◎健康教育を推進します。	○ 保健だよりや保健室前の掲示で健康に関して児童生徒や家庭に啓発することができた。 ○ 肥満に対する指導や虫歯治療率を高めるための取組に課題が残る。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な保健だよりの発行や保健室前の掲示板の活用により、児童生徒や家庭の健康に関する意識を高めることができていたと思う。 ほとんどの児童が昼休みに外で元気に遊ぶ様子が見られる。全員が一輪車に乗れるのはすごい。体力の向上や健康づくりにつながっていると思う。病気等による欠席も少なく、基本的な生活習慣が身につけており、健康で元気に過ごしているのがよい。 計画的に弁当の日が実施されており、食に対する意識が高まっていると思う。給食の残食が少ないのもよい。 部活動は人数が少なくなり、団体戦等に参加できないのは残念であるが、秋の県大会に個人戦で出場するなど、成果を上げている。
	2 ◎健康に対する自己管理能力を高めます。	○ ケガ等は多少見られたが、積極的に運動に取り組み、大きく体調を崩す児童生徒は見られなかった。 ○ 体力向上プランを考えた取組について今後さらに充実を図る必要がある。			
	3 ◎食に関する指導を充実させます。	○ 弁当の日を計画的に実施し、食に関する意識を高めることができた。 ○ 栄養教諭と連携を取り、食に関する指導を充実させることができた。			
	4 ◎部活動の改善に努めます。	○ 部活動運営協議会を実施し、本校の部活動の方針を共通理解し効果的に部活動を運営することができた。 ○ 今後の生徒数の減少や部活動の入部率の減少による運営の課題を整理し、検討する必要がある。			
【環境】 ます。教育環境を整備し	1 ◎安全な学校にします。	○ 定期的に安全点検を実施し、危険箇所について早期に対応し、委員会に報告することができた。 ○ 避難訓練の見直しや学校の現状を共通理解することで、効果的に避難訓練を実施することができた。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線にある学校として津波の際の避難訓練を年2回実施し、日頃より意識を高くもって取り組んでいると思う。 学校のまわりや教室がきれいに整備しており、落ち着いて学習できる場づくりができています。 花いっぱい運動では地域の方と作業をすることで、児童生徒の学校や地域の美化に対する意識が高まったと思う。家庭や地域もプランターと花の苗を持ち帰ってかざり、とても喜んでいました。 地域コーディネーターを中心に地域での交通安全や児童生徒の見守りを依頼し、児童生徒が安全に過ごすことができていた。 定期的に安全点検を実施し、児童生徒が安全に学校生活を送れるよう早めに対応する体制ができています。
	2 ◎校舎内外の美化に努めます。	○ 小中での縦割りでの清掃など、少ない人数で一生懸命に清掃に取り組んでいる。 ○ 花いっぱい運動だけでなく、日頃から植物や自然とふれあえる取組や委員会活動の工夫が必要である。			
	3 ◎事故のない環境を作ります。	○ 交通教室や安全指導を実施し、交通事故等大きな事故に遭う児童生徒はいなかった。 ○ 危険箇所等を早期に発見し、改善に努めることができた。			

1 本年度の取組について
すべての職員が年2回の研究授業を実施し、4人グループで相互参観し、意見交換することで「分かる・できる」授業を目指した授業改善に取り組むことができた。また、朝自習や学びの時間に計画的にNIEの活動を実施することで取組の充実を図り、読解力向上に努めることができた。新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事が中止や規模縮小となる中で、児童生徒の体験的活動をできるだけ取り入れ、地域に貢献し豊かな心を育む活動ができた。弁当の日の取組や体力向上プランの実践により、食や健康に対する意識を高めることができた。安全点検の実施により危険箇所を早期に発見し安全な学校づくりに努めることができた。

2 次年度への改善に向けて
次年度の研究についてはロイノートを活用が中心となるが、「分かる・できる」授業を目指した授業改善については引き続き取り組むことが望ましい。学習指導要領の完全実施に対応し、評価についての見直しにも取り組む必要がある。体力向上プランや食育をより充実させ、健康で基本的な生活習慣がしっかりと身についた児童生徒の育成に努める。本年度実施できなかった体験活動についても改めて実施に向けて、共通理解を図り、より効果的に地域に貢献し豊かな心を育む活動とするため工夫改善を行う。学校運営協議会との連携を密にし、地域の中の学校として、地域活性化や防災を意識した活動に取り組む。